

学校教育目標	「笑顔いっぱい、ともに輝く小山台」 ○自分のよさや可能性を生かし、主体的に学ぶ子どもを育てます。(知) ○自分や友だちのよい面に気づき、思いやりのある心豊かな子どもを育てます。(徳) ○心身共にたくましく健やかな子どもを育てます。(体) ○地域を大切に、ともに生きる子どもを育てます。(公) ○他との関わりを通して、社会の中でよりよく生きる子どもを育てます。(開)				
	創立 44 周年	学校長 堀江 公子	副校長 佐々木 希	2 学期制	一般学級：8 個別支援学級：2
学校概要	児童生徒数： 220 人 主な関係校： 小山台中学校				

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	小山台中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
・自ら課題に粘り強く取り組む姿勢の醸成 ・コミュニケーション能力 ・協働して課題解決する力	小山台中学校 小菅ヶ谷小 本郷台小	豊かな関わり合いの中で、 自らの課題に粘り強く取り組む子ども ・自らの課題に取り組み、進んで活用・探究する力を育てる。 ・豊かな関わり合いを大切に、共に生きる力を育てる。 ・教育環境を整えることにより、学力向上を図る。

中期取組目標	○温かい関わりの中で活力と魅力にあふれた学校づくりを目指します。 ・児童理解を十分に行い、全職員で全児童を指導する体制と特別支援教育の充実を図ります。 ・たてわり活動(異学年交流)を充実させ、人間関係の幅を広げ、豊かでたくましい心情や、ともに支え合い高め合う意欲を育てます。 ・学習習慣の確立と授業力の向上、地域教育力の活用により確かな学力の向上を図ります。 ・職員・児童・地域で芝生の校庭を快適な状態に整備し、進んで運動を楽しみ体力の向上を図ります。
--------	--

重点取組分野	具体的取組
知 生きてはたらく知	①すべての学級において「主体的対話的な学び」を意識した授業づくりを進めるために、校内の授業研究会等で教員の授業力を高める。②各教員の強みを生かしながら、児童が自分の考えを表現できる場を意図的に設定し、互いの良さを認め合い、協働的な授業を展開できるようにする。
担当 重点研推進委員会・教務部	
徳 豊かな心	①豊かな心の育成を目指して、道徳科を要として学校教育活動全体を通じて行う道徳教育、人権教育を推進する。②他者と共によりよく生きることができるよう、相手の立場や気持ちを思いやって行動できるやさしさを育む。同学年だけでなく異学年の友達のことも考え、気持ちよく学校生活を送ることができるよう、たてわり活動の充実を目指す。
担当 人権部・道徳部・特活部	
体 健やかな体	①過去数年間の体力テストの結果から、技術的に力をつけたい部分を重点的に取り組めるようにする。②学習カードなどを効果的に活用し、児童が楽しみながら協力して体力向上を目指せるようにしていく。また、体育協会や委員会の児童、保護者と連携を取りながら活動を進めていく。
担当 体育部	
公 自分づくり教育 (キャリア教育)	①教育活動全体を通じて学びと将来を結び付けて考えたり、興味や特性に気付いて、それを伸ばすにはどうしたらよいかと自ら考えたりできるようにする。②地域の人、もの、ことと関わることで、人の生き方や人柄にふれたり、社会と自分とのつながりを実感したりできるようにする。
担当 重点研推進委員会・教務部	
児童生徒指導	①「小山台小スタンダード」の見直しを継続し、児童の実態に即したものに適宜改定をするとともに、どの学級でも同じ指導となるように随時確認ができる体制づくりを進める。②児童理解の一層の深化と共有を進め、組織的に対応できる体制づくりを進める。また、SC.SSWなどとの機関連携を推進する。
担当 児童指導部	
特別支援教育	①個別支援学級のみならず、配慮を要する児童の支援計画、指導計画を作成し、保護者とも連携をとりながら適切な支援・指導を行う。②個別支援学級担任、交流級担任他、全教職員が連携して児童理解に努める。③専門的な知識を学ぶ機会として見識の深い講師を招聘した研修を実施する。
担当 特別支援教育委員会	
地域連携・ 学校運営協議会	①地域と学校の連携・協働体制を目指し、こや小ボランティア運営委員会と学校運営協議会が両輪となり子どもの成長を支える活動を進める。②学校・地域コーディネーターの機能と役割を職員に周知し、学習支援等への地域教育力の活動を進める。
担当 教務部	
いじめへの対応	①いじめ防止基本方針に基づいた学校いじめ防止対策委員会が中核となって事案の対応や未然防止といった課題に取り組む。②未然防止、早期発見の取り組みとして職員がいじめ防止に関わる研修や体制づくりを整備する。また、児童アンケートを有効活用し、いじめを見逃さない体制を強化する。
担当 児童指導部	
人材育成・ 組織運営(働き方)	①授業力向上のため、定期的に授業研究会を実施し、教育課程作成への参画意識を高め、教職員としての人材育成を図る。②キャリアにあう見識を身に付けたり深めたりする機会として、モデルリーダーを中心としたメンターチームの研修を実施する。③仕事の内容を精選し、学校運営に関わる業務を分担する。
担当 教務部	